



KUMAMOTO

YMCA NEWS

THE KUMAMOTO
YOUNG MEN'S
CHRISTIAN
ASSOCIATION

No.538

2017

5



白石 瑞樹さん

熊本学園大学4年
ウエルネス事業部
マシュマロリーダー(4年目)
担当/水泳、あすなろクラス
17年度西日本地区YMCA
リーダー研修会実行委員長
17年度ながみねファミリー
YMCAリーダー会長

林 光斗さん

東海大学3年
ウエルネス事業部
コアリーダー(3年目)
担当/水泳、リパティ
ードルフィンズ
16年度ながみねファミリー
YMCAリーダー会長

道端で困っている人にも 声をかけられる自分になれた

“ザ・リーダー”から受けた強烈なインパクト

白石 大学に入って、アルバイトを探していた時に高校時代の同級生に誘われてリーダーに。入ってすぐに、ある先輩リーダーから強烈なインパクトを受けました。とにかく熱い。

林 そう、熱い。“ザ・リーダー”だよ。

白石 ストイックで自分に厳しくて、でも子どもたちの人気はすごい。僕にとっても憧れです。1年目は子どもへの接し方、2年目は言葉使いを必死に学びました。3年目になってやっと少し、子どもたちにとってリーダーってこういう存在なんだって分かってきたかな。

林 僕も白石さんを誘った人から紹介してもらいました。子ども好きだし、YMCAにはやりたいスポーツがたくさんありましたし。「おもしろそうなバイトだなー」くらいの感覚でした。だからこそ、ザ・リーダーから受けた影響はすごかった。子どもの教育に関わるってこんなことなんだ、と。

いつの間にか消えていた“バイト感覚”

白石 いつの間にか、リーダー=アルバイトという感覚は消えていましたね。今は子どもの個性にふれられるのが楽しいし、話し方や褒め方を自分なりに考え、工夫するようにもなりました。



林 僕もそう。大切な子どもを預かっているという使命感が強くなって、給料をもらえることを忘れるくらいです(笑)。保護者の方に接しているいろいろなことを学べたり、子どもに教えてもらうこともたくさんあります。

何より、子どもと一緒に自分自身も成長していると実感できます。最近担当するようになったのは発達障がい児支援のリパティードルフィンズの水泳教室。先輩方に指導を受けて、今ではやりがいを感じています。

白石 僕は知的障がいのある子どもたちの「あすなろクラス」を担当しています。最初は戸惑ったし、気をつけてました。でも、接しているうちに、子どもたちの目の輝きや成長を感じることができるようになりました。子どもたちが可愛くて。

リーダーになってよかったこと

白石 一昨年は西日本地区YMCAリーダー研修会に、昨年は2人とも全国YMCAリーダー研修会に参加しました。そこで出会った他県のリーダーは、意識が100%子どもたちに向いていて、その熱意に圧倒されました。そこでリーダーとしてもっとステップアップしたいと、意識が変わりました。今年5月に熊本で開かれる西日本地区リーダー研修の実行委員長を務めます。初心に帰って他県のリーダーから学び、彼ら、彼女らと思いを共有することも大切だと思っています。



2015年度西日本地区YMCAリーダー研修会

※西日本地区YMCAリーダー研修会は広島以西のYMCAからユースリーダーが集う研修。毎年5月に開催されている

林 僕は、以前は人前で話すのが苦手でしたが、リーダー会長を務めたことで、ずいぶん変わりました。就職して世の中に出てもこの経験は役立つと思っています。

白石 リーダーになって、思ったことを行動に移せるようになったみたいです。例えば今の自分だったら道端で困っている人に声をかけることができます。以前だったら、多分できなかった。

林 あ、それって分かる気がします。以前YMCAと関わりがあった僕のおじいちゃんが「YMCAは人を育ててくれるところ。行って良かったね」と言ってくれたことがあります。今、そのことが分かってきました。

白石 YMCAにいますと、自分も周囲も成長して変化していきます。多くを学び、子どももリーダーも成長できる場、それがYMCAですね。

Pickup

黒川保育園入園式
新入生を歌で歓迎



YMCA
フィランソロピー協会
新入社員ボランティア
入門講座

YMCA学院日本語科
入学式



Information 行こう 見よう 深めよう

5月27日 Saturday

共に歩む復興の道 2017年度熊本YMCA大会

2017年度YMCA大会を開催します。礼拝、定期総会のほか、会員や地域の皆様が一堂に会し、楽しく交われるような催しを企画しています。今年の会場は益城町文化会館です。第4部と第5部は会員以外の方も入場可能。多くの皆様にご出席いただきますようお願いいたします。

日 5月27日(土) 場 益城町文化会館(上益城郡益城町木山381-1)
※お車で越しの方は、益城町総合運動公園駐車場をご利用ください。

第1部 礼拝

時間 10:00~
奨励 熊本東聖書キリスト教会 豊世武士さん

第2部 定期総会

内 2016年度事業報告・決算報告・監査報告
2017年度事業方針計画・予算報告
会則改定、常議員信任

第3部 団体紹介・表彰

昼食

ご出席者向けに軽食を販売いたします

第4部 公開講演会

出演 樋口一さん
(熊本市出身のシンガーソングライター
1993年デビュー。日本レコード大賞優秀作品賞を受賞した「手紙～親愛なる子供たちへ～」などのヒット曲がある)



第5部 発表及び活動報告

内 復興支援活動報告、国際事業報告、YMCA学院日本語科学生によるスピーチ、ユース活動報告、子どもたちの発表、ワイズメンズクラブ活動報告等

学び
×
集い

5月14日 Sunday

小さな市場 むさしマルシェ

体験
×
バザー

地域の皆さんにより気軽に立ち寄っていただけのYMCAになることを目指して始まった、小さな市場「むさしマルシェ」を5月もオープンします。

食バザーのほか、かわいい手作り小物・雑貨、アクセサリなど販売や押し花しおり作成体験を行います。ぜひお越しください。

益金はむさしYMCAが行う地域ボランティア等のために用いられます。

※雨天の場合は中止します。

日 5月14日(日) 10:30~13:30
場 むさしYMCA(合志市幾久富1866-1339)
問 TEL 096-248-6334



5月10日・17日・19日・24日

愛されて10年 歌声広場わいわい

団塊の世代が集う場所をつくろうと2007年に誕生した歌声広場わいわいが10周年を迎えました。現在、4カ所のYMCAで、月に1回、懐かしの歌を歌う楽しい時間となっています。

費 500円

東部YMCA(中央区帯山)

日 5月10日(水)
原則第1水曜日 19:00~20:30
申 TEL 096-382-6661

むさしYMCA(合志市)

日 5月19日(金)
原則第3金曜日 13:30~15:00
申 TEL 096-248-6334

中央YMCA(中央区新町)

日 5月17日(水)
原則第2水曜日 15:00~16:30
申 TEL 096-353-6391

みなみYMCA(南区田迎)

日 5月24日(水)
原則第4水曜日 10:45~12:15
申 TEL 096-378-9370



6月9日 Friday

楽しみながらボランティア チャリティボウリング大会

交流
×
チャリティ

熊本地震の仮設団地で暮らす子どもたちを支援することを目的に、平日仕事帰りの社員たちが集まり、ボウリングをプレーします。

熊本の地域社会において企業人のボランティア活動とボランティア団体の活動を支援することを目的に1995年に設立され、現在34の企業・団体が活動しているYMCAフィランソロピー協会が主催。ストライク1回につき100円を募金する工夫などもあり、楽しみながらボランティアできると大好評の社会貢献プログラムです。

日 6月9日(金) 18:15 受付開始/18:45 開会/21:10 終了予定
場 namcoワンダーシティ南熊本店 ワンダーボウル
(熊本市中央区九品寺6-9-1)

内 協会会員企業および趣旨に賛同する県内企業・団体の社員・職員等
費 4人1チーム10,000円 ※シューズレンタル代別途
問 YMCAフィランソロピー協会 事務局(熊本YMCA)

TEL 096-353-6397



R | E | P | O | R | T

[3月3日 ⇒ 4月15日]

日本ではできない学び タイ・ユースワークキャンプ

3月3日(金)～13日(月)に、大学生・高校生・スタッフの10名でタイ北部のチェンライ、パヤオを訪れました。熊本YMCAが日本の里親と共に支援している若竹寮や横浜YMCAが支援しているYMCAパヤオセンターでは子どもたちとの交流を通してタイが抱える社会問題について学び、山岳少数民族の村ではホームステイしながらトイレの改装ワークをしました。

パヤオセンターでは人身売買被害者の話を聞き、学生からは「この事実を周囲に伝えていかなければならない」と感想があがりました。若竹寮の子どもたち

との交流は自分たちにできる支援について考える機会となりました。期間内にトイレを完成させることはできませんでしたが、人々との交流で学生たちが得たものは大きかったようです。

参加者の一人は「世界中で問題になっている麻薬や人身売買の話聞いた時は、自分の無力さを感じたが、このままこれらの問題のことを知らずに生きていくことにならずによかったと思う。日本では学べないことを学ぶことができた」と話していました。

本部事務局国際事業部 工藤瑛里菜



進もう、前へ。 熊本未来笑店街

熊本地震から約1年となる4月15日(土)、多くの熊本への支援に対し感謝するとともに、復興をさらに一歩前へ進めようと「熊本未来笑店街」を開催しました。

会場は、昨年10月末まで避難所として運営されていた御船町スポーツセンター。映画「うつくしいひと」のチャリティ上映会は約90名が鑑賞。また、前熊本県総務部長の木村敬さん、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク代表理事の栗田暢之さん、フォトジャー

ナリストの安田菜津紀さんを迎え、「熊本地震で何が求められ、これから何をすべきか」をテーマにパネルディスカッションを開催しました。

同日、ふっこう商店街として、食バザー、ゲームやミニフリマなどのコーナーも設けられ、多くの人たちで賑わいました。

パネルディスカッションの内容は本紙YMCA NEWS 次月号で紹介する予定です。



守ろういのち ながみね防災まつり開催

3月26日(日)に実施した7年目の防災まつりは、熊本地震後初めての開催となりました。地域で防災をより深く考え、実践的なものとするのが目的で、ながみねファミリーYMCAと託麻南校区8町内自治会との共催で行いました。

今回は、開会式で地震での体験や各団体の活動を共有。消防、警察、日赤、NTT等それぞれの立場で災害時の活動が報告され、写真を使いながらの体験談に、参加者は真剣に耳を傾けていました。

また、災害時を想定して、身近にある新聞紙でス

リッパやコップを作ってみたり、いろいろな特殊車両見学・乗車体験をスタンプラリーで楽しみました。

防災を考えるには、日頃からの意識づけと備えによる減災、そして人と人とのつながり、助け合いが重要です。熊本地震から1年が経過した今、参加者の皆さんは、忘れかけていたことを思い出し、備えるきっかけになったのではないのでしょうか。今後も地域の防災を考える機会を通して、地域の各団体が連携し、絆を大切に、よりよい街づくりを行っていきます。

ながみねファミリーYMCA 丸目陽子



生かされている日々

わたしはカトリック宇部教会の片柳弘史さん監修の日めくりカレンダー『超訳マザー・テレサ「幸せはいつも、ささやかなことの中に」』の愛のメッセージに、日々、心を癒されています。

「大きなことをする必要はありません。小さなことに、大きな愛を込めればいいのです」とマザー・テレサは言っていたそうです。幸せになるためには、大きな成功を収めようと目の前の小さなことを軽く扱うのではなく、小さなこ

とにしっかりと全力で愛を込めることが大切だと言っています。そのことによって愛が生まれてくるからです。

日々の仕事においても、丁寧に真心を込めて行っていくことで、そこで働く仲間や会員の間に小さくても確かな愛の絆が生まれ、お互いの関係性が保たれていきます。私たちの毎日の暮らしでも、真心を込めて丁寧に生きること、誰でも幸せになれるのです。大切なことは、大きなことに惑わされて、小さなことの中に隠された幸せを見失わないこと。そのことが幸せへの道へつながっているのです。

特に私が心を動かされたのは、『一人ひとりが、神さまの最高傑作』という言葉です。「この世界にあるすべてのものは、神さまという芸術家によって創られました。(中略)どの作品も、妥協なく、完璧に仕上げたこの世に送り出しま

す。(中略)自分をけなすのは、作者である神さまをけなすのと同じことです」とあります。

思いどおりにならないことや、自分が思っていたことに反した行動を相手がした時に、つい腹を立ててしまいます。その度に自分の至らなさを悔いることになります。相手に寄り添って、その事柄を確認し、心をひらき、今、自分ができていることを考えることが大切です。自分が「神さまの最高傑作」であること、日々の中で出会う一人ひとりも「神さまの最高傑作」であると考えれば、自然と心からほほ笑みかけることができるようになるでしょう。

日々の小さなことに愛を注ぎ、出会う全ての人に尊敬と感謝を忘れない。神さまの愛を受けて日々生かされていることに感謝いたします。

talanton

YMCAスプリングキャンプ 春のはじめてキャンプ

日程：2017年3月29日(水)～30日(木)
場所：阿蘇YMCA

今年も多くの子どもたちが参加したスプリングキャンプ。年中～小学1年を対象に実施した「春のはじめてキャンプ」では31名の子どもたちが、1泊2日のキャンプを楽しみました。

START



みんな緊張気味？
いよいよキャンプスタート！

キャンプ場
って楽しい！



クラフトに挑戦！

うまく
できてるかな？



リーダー、
また会おうね！



GOAL

名残り惜しい閉所式



めいっぱい遊んだ後はお昼ご飯

カレー美味しく
できたかな？



包丁の使い方
上手だね



カレー作りに挑戦

お部屋の中でも
楽しいね



雨だったので室内でキャンプファイヤー

桃田運動公園の指定管理をスタート

2017年4月1日より、玉名市総合体育館や桃田野球場等のスポーツ施設と芝生広場や児童広場等の公園内広場がある「桃田運動公園」の指定管理を「玉名市体育施設管理運営共同企業体」が担うことになりました。この企業体は、代表を公益財団法人熊本YMCAが務め、公益社団法人玉名市シルバー人材センター、株式会社キューネット、有限会社スクラムの4団体で構成されます。

玉名市が提唱する「年齢や性別、障がいの有無等を問わず、それぞれのニーズに応じてスポーツを楽しむことができる環境を整備し、スポーツを通じ、青少年の健全育成、生涯を通じた心身の健康保持、競技力の向上、地域コミュニティの活性化」に応え、桃田運動公園において、YMCAが培ってきたノウハウを集結して取り組んでいきます。

桃田運動公園

熊本県玉名市大倉1144 TEL0968-75-1314

公園内スポーツ施設

- ・玉名市総合体育館
- ・桃田野球場
- ・金栗記念広場(多目的運動広場)
- ・玉名市民プール



わたしと聖句

マタイによる福音書4章4節

神の口から出る一つ一つの言葉で生きる

分かち合った経験を思い出す

今、爽やかな5月の風を感じる頃です。一年前のことが思い出されます。大きな地震に見舞われました。私たちの生活が、そして、精神が、大きな揺れに襲われました。これまでのだれも想像したことのない出来事に思いと心が揺れたのでした。どうすることもできないもどかしさ、人間が持っていた力の小ささを思い知らされました。これまで築いてきた財産や持ちものが、どれほどまでに生きる上で役立つものかを考えたことでしょうか。

「何よりも、まずは食べることに沢山食べなさい。大きくならないね。食べなさいや死んじゃうからね。生きていくために食べなさいいけないんだよ」と耳

にしてみました。食べ物を手に入れることさえ「あたりまえ」のことではありませんでした。

人間は、体だけでできているわけではありません。目には見えないけれども心というものが存在していて、これが大切なものなのです。体ばかりではなく、心は生きていて、心にも栄養を与えなければ、大きな心にはならないのです。食べ物や目に見える肉体に気を配ることも必要なことです。しかし、非日常的なことが起こるとき、分かち合うことと分け与えあう心が育っていたのが気にかかるところです。

何を大事にしてきたのかという価値観が、こんな時に現れるのではないのでしょうか。

自分の命をパンという「目に見える価値」だけを追い求め、それに人生を費やす時、心は痩せ、衰え、枯れていくのです。なぜか。それは自らのことのみを考え、優先させる競争が、孤独を生むからなのです。

神さまの祝福が豊かにありますように。

日本福音ルーテル熊本教会

杉本 洋一

発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8
TEL 096-353-6397(代)
発行人／岡 成也 編集人／富森 靖博
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2017年度基本聖句

ヘブライ人への手紙 13章5節
わたしは、決してあなたから離れず、決してあなたを置き去りにしない。